



遠里小野小学校



(令和7年5月1日現在)

所在地	〒558-0032 住吉区遠里小野6-6-27		
電話	06-6692-5671	FAX	06-6692-7962
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731665		
校長名	林 真美子		
児童数	190名	教職員数	32名
学級数	10学級(うち特別支援学級4)	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

心豊かに、たくましく生き抜く子どもを育てる

校長メッセージ

遠里小野は「住吉の遠里小野の真様もち摺れる衣の盛りすぎ去く」と歌われる万葉由来の伝説・文化があふれる地域で、遠里小野小学校は今年創立88年を迎えます。学校の南側には大和川が流れ、すぐ西には熊野街道が通っています。校区は落ち着いた静かな住宅地で、登下校の見守り活動をはじめ学校図書館ボランティア活動など、保護者や地域の方々にはしっかりと支えられて、子どもたちは穏やかに学校生活を送っています。また学校は、地域の方々が心豊かに楽しく学び、生きがいを創造する生涯学習や学校体育施設開放による人々の交流の場としても活用されています。

本校の一番の特徴は、縦割りの異学年交流です。1年生から6年生までの全員を縦割りで4色のチームにして、それを班に分け、全校遠足や児童集会で縦割り班として活動します。上級生は年長としての自覚をしっかりと持ち、チームをまとめることや模範となることの大切さを学び、下級生は先生や保護者以外の身近なお兄さん・お姉さんから集団生活のルールを学びます。

また、地域の方々の大きな応援を得て、運動場を全面芝生化していただき11年目となりました。校庭の芝生化によって、児童の身体能力の向上や健康に効果が発揮されること、また夏の気温の上昇を抑え、ストレス反応を軽減させるとの研究調査の結果があり、子どもたちは一年を通してのびのびと運動に取り組むことができます。

学校協議会会長メッセージ

「芝生の運動場」の遠里小野小学校では、運動会等学校行事のお手伝い、学校図書館ボランティア活動「としよぼさん」、踏切や交差点での交通安全対策「声かけ隊」などに、学校・保護者・地域が一体となって活動しています。

今後も当校の発展と子どもたちの安全・健康・教育により一層の努力をしていきます。これからも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



▶▶ 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状(調査対象：令和6年度の小学6年生)

【平均正答率(%)】

国語	算数
65	62

【教科調査からわかったこと】

【国語】全体の平均正答率は全国平均・大阪市平均をやや下回った。各領域の平均正答率では、「情報の扱い方」と「読むこと」において全国平均を上回った。読書活動の充実を図ってきたことやICTを活用した効果的な学習に取り組んできたことなどの成果が現れた。一方で、「話す・聞く」「書く」においては、全国平均・大阪市平均を下回った。この課題の改善に向けて、今年度の研究に取り組んでいる。

【算数】全体の平均正答率は大阪市平均と同じであったが、全国平均は下回った。各領域の平均正答率では、「数と計算」「データの活用」で全国平均を上回った。基礎基本の定着を図ってきたことや国語科同様ICTを活用した効果的な学習に取り組んできたことなどの成果が現れた。一方で、「変化と関係」では全国平均・大阪市平均を大きく下回った。

【質問紙調査からわかったこと】

質問調査全般で、肯定的な回答において「当てはまる。」よりも「どちらかといえば当てはまる。」を選ぶ傾向が強く、遠里小野小学校の多くの児童が抱える自信のなさが顕著に表れている。自信のなさから伺える『力はあるが、力を発揮できない。』児童の実態を変化させるためにも、教育活動全般において児童の確かな自信の確立に向けた実践の構築が急務の課題である。

▶▶ 運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校にいくのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より4ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツすることが好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を62.6%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を56.4%以上にする。
- 本市調査における、「学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)」を12冊以上にする。

① 縦割り班活動

本校の一番の特色である縦割り班活動は、1年生から6年生までの全員を縦割りで4色(黄・青・緑・橙)のチームにして班を分け、異学年の交流を図るために毎年実施してきました。赤白帽の頭の部分に色布を縫い付け、何色の班なのかが目で見分けるようにしてあり、普段から縦割りを意識できるようにしています。

木曜日の児童集会では、集会委員会を中心に縦割り班で集まってゲームや取り組みを行っています。各学年で遊びのお店を企画し楽しむ「おりおのフェスティバル」や全校遠足「ハッピーレクリエーション」でも、この縦割り班で活動します。

② 学校行事

4月	1年生を迎える会	5月	春の遠足	6月	おりおのフェスティバル
9月	林間学習 全校遠足(ハッピーレクリエーション)	10月	運動会	11月	修学旅行
12月・1月	ドッジボール・大縄・マラソン大会	2月	作品展	3月	卒業生を送る会



1年生を迎える会



おりおのフェスティバル



運動会



遠足



作品展



修学旅行



林間学習

▶▶ 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(調査対象：令和6年度の小学5年生)

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅び(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	17.00	18.00	29.50	37.20	45.60	10.20	136.40	23.40	49.30
女子	17.20	17.60	38.80	40.50	44.70	9.70	139.00	15.00	55.80

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における課題が「握力」であった。そのため、体育科の準備運動で、上り棒を登る運動を取り入れたり、握る活動を取り入れたり工夫を行ってきた。その成果が令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における握力の結果へとつながった。また、握力だけでなく、体育科において運動量を確保することを意識した授業づくりに取り組んだり、体力強化月間を設定し、体育部中心に縄跳び集会やドッジボール集会等に取り組んだりしてきた。しかし、体力合計点や「上体起こし」「立ち幅跳び」の結果をみると、それらの取り組みの成果はまだ実を結んでいるとは言えない。そのため、これからも体力を高める実践や取り組みを継続して行っていくことが必要である。